

第1回野川生き物調査報告

伊藤雅紀

日時：平成20年10月18日（土）午前10：30～11：30 気温23℃、水温18℃

調査区：野川（西の橋～弁天橋間） 貫井神社下

参加者（担当）：遠藤（虫網）、石原（写真）、岡崎（魚網）、志賀（魚網）、伊藤（魚網）

持ち物：魚網（3）、虫網（1）、バケツ（2）、長靴（2）、胴長（2）、箱めがね、水槽（大1、小1）、
観察ケース、シャーレ、バット、水温計、タオル、メモ帳、淡水魚図鑑、デジカメ、
スケッチブック（大1、小1）、色鉛筆、クレヨン、長靴バッグ

捕まえた生物

魚類：メダカ（1）、オイカワ（1）、タモロコ（2）、モツゴ（1）、ドジョウ（4）

甲殻類：アメリカザリガニ、スジエビ

水生昆虫：ヤゴ、カゲロウ、ヒル、ヒラタドロムシ、トビケラ

貝類：タイワンシジミ、カワニナ

陸生昆虫：カマキリ、カタツムリ、キタテハ、アキアカネ

植物：ススキ、ジュズダマ、セイタカアワダチソウ

etc

当日の行程

9：30 集合（～10：00 準備）

10：00 出発（10：20 到着）

10：20～11：20 生き物調査

11：20～11：40 簡易同定・片付け

12：00 大学到着

今後の注意点

- ・川に入るには長靴より胴長のほうが自由がきく。
- ・歩行者の邪魔にならないよう河川敷の荷物を片付けておく。

感想

初回の調査は天候にも恵まれ上々の収穫だった。魚類5種をはじめたくさんの生き物を見つけることができた。また、地域住民のあたたかい視線に嬉しく思うとともに、地域の人々が野川の生き物に関心があることも察することができた。

今回は時間的制約と獲るのに夢中だったためスケッチはできなかったのも、川から生き物を持ち出さないためにも案を講ずる必要がある。単純には調査時間を増やせば解決するが。

今後は簡易水族館のように魚を展示するなど調査を盛り上げる演出等も考えていきたい。

以上